

すずかけ

すみだ女性センター

特集 ごみへの意識が未来を変える

2 巻頭インタビュー

4 **特集**
ごみへの意識が
未来を変える

8 になりたい自分、になりたい未来
すみだの
「お仕事探訪」

9 今日の一字

10 すずかけ
インフォメーション

12 こんにちは
すみださん



巻頭インタビュー
俳人
夏井 いつき さん

こんにちは すみださん

株式会社アストロスケール
代表取締役
伊藤 美樹 さん

表紙イラストは、
すみだ女性センターの
愛称である
「すずかけ」の実です。



俳人

夏井 いつき さん

Itsuki Natsui



生まれ育った環境について教えてください。

今は合併し愛南町となりました、愛媛県内海村で生まれました。幼少期に俳句の基礎があつたのかとよく聞かれますが、俳句とは無縁の生活でした。もちろん、季節を意識して生活するよいうな子ども時代を過ごしたわけではありません。ただ、田舎ですから自然の中

で育ちました。目の前に広がる海、段々畑、山…それが当たり前の日常ではあり

ました。季節を意識して探すようになったのは、俳句に出合ってからですね。当時の私は「陰気臭い優等生」でした。特定郵便局の後継者という周りの目があつたので、静かに過ごしていましたし、小・中学校ともに1学年1クラスの小さな学校では優等生でした。

俳人になる前は、教師をされていたそうですね。

高校では、数学が苦手でした。「できないことはできない」と進路を文系と決めた瞬間、空が広がったのです。大学の文学部に進学し、ふわふわと思いついていた夢と現実の焦点が合いた。始めた3回生の頃でした。愛媛に帰りたいたいという思いと、国語が好きで自分の取

Profile

昭和32(1957)年、愛媛県内海村(現在の愛南町)に生まれる。愛媛県松山市在住。中学校国語教諭を経て、俳人へ転身。俳句集団「いつき組」組長。自身の創作活動に加え、テレビ、ラジオ出演や執筆、講演会など、全国的に幅広く活躍中。

り柄であるという現実を考
えて、国語の教員になろう
と思い始めました。

教育実習では、子どもた
ちに教えることや、教材研
究の面白さに夢中になり、
そこから本気で教職を目指
しました。教員になり、国
語を教えることはただただ
面白かったです。生徒たち
にも楽しんでもらえるよ
う、工夫を凝らしてしまし
た。不人気だった国語が、一
番面白い、と言ってもらえ

楽しいとわかったら、好きになるはず。
だから、面白くさせてみせますよ。

るようになりました。一方
で教員の仕事は多忙で、子
育てと仕事の両立はとても
難しく、育児も家事も母任
せでした。自分でどうにも
できないことは、周りに頼っ
て、折り合いをつけること
も大事だと私は思います。
俳句との出会いは教員に
なってから。飲み会の座席
を決める時に俳句を使った
のです。それぞれの座席に、
俳句のヒントになる絵柄を
描いて置き、くじ引きで引
いた俳句と合う絵柄の席を
探して座ってもらうという
ものでした。

初回は歳時記をめくっ
て既存の句を使いました
が、2回目からは他の先生
をネタにした句を自作して
使ったのでウケましたね。
それが初めての俳句の創
作でした。俳句を作ろうと
いう思いからではなく、別
の目的のために俳句を作っ
たので、難しさや敷居を感
じることなく、俳句の世界
に足を踏み入れることが
できました。

その後、教職を家庭の事
情などで辞めなければいけ
なくなり、辞めたくないと
いう思いとの葛藤のなか、
自分を納得させるための方
便として当時の校長先生に
向けた言葉が「俳人にな
る」でした。そうして教員
を辞め、俳人としてやって
いくことになったのです。

俳句に関するご活動に
ついて教えてください。
当時30代、俳人として句
会などに参加するようにな
りましたが、その頃住み始
めた「俳句の都、松山」でも、
自分と同世代の俳人はいま
ませんでした。このまま何も
しなければ、俳句業界は高
齢化し、俳句が消えてしま
うと思ったのです。誰かが
やらなきゃいけないなら私
がやろうと、俳句の種まき
活動を始めました。40代で
シングルマザーとなり、俳
句で家族を養うようになっ
てからは、生業としてさら
に真剣に取り組むようにな
りました。大変でしたが、
俳句に関して無理だと思っ
たことはないですね。自分
の力でできることですから。
俳句なんて古臭くて難し
くて自分にはできないと思
い込んでいる人が多いな
か、その敷居を感じさせな
いようにしたいです。教員
時代の授業と一緒にですね。
面白いと思ったら国語も俳
句も好きになる。好きに
なったら学びたくなる、上
手になる。どうすれば面白
く思ってもらえるかの工夫
が好きなんです。新しい言
葉や流行語を使った俳句も
私は受け入れます。それを
面白がって、敷居の低い入
口から、俳句を始める人が
増えていけばいいですね。

特集

ごみへの意識が未来を変える

すずかけ57号(2006年)『家庭から回収されるごみはどこへ行くのでしょうか?』の発刊から16年。時代が変わり、SDGsへの意識が高まるなか、身近なごみ問題は今も大きな課題です。

日本では2000年に循環型社会形成推進基本法が制定され3Rの考え方が導入されました。日常でごみ捨ての分別には取り組んでいるものの、具体的にどのようなことが3Rにつながるかわからない人も多いのではないのでしょうか?

そこで、ごみ処理の現状から新しい情報までごみ問題を解決する墨田区の取組みを紹介します。



清掃事務所インタビュー

すみだ清掃事務所啓発指導係 いまなり よしたか 今成 嘉孝さんにお話を伺いました。



清掃事務所の仕事 主に集積所に出されたごみを収集し、衛生的で安全に処理するためにごみを所定の場所に運んでいく仕事です。収集するだけではごみは減っていくものではないので、ごみにしないリデュース・リユース・リサイクルの3Rを区民の皆さんにアピールしていくのも仕事です。

ごみ処理の流れ 墨田区の場合、週に2回収集する「燃やすごみ」、月に2回収集する「燃やさないごみ」、事前申し込みを受付けてから収集する「粗大ごみ」、この他にリサイクルに回してごみを減らす取組みの一環で「資源物」の回収があります。

資源物 地域の皆さんの活動による「集団回収」と、区が回収を行っているものがあります。区が回収を行っているものには、古紙、びん、缶、ペットボトル、食品トレーのように週1回集積所に出されたものを回収する方法や、公共施設等に回収拠点を設け、持ち込まれた乾電池、廃食油、ペットボトルキャップ、歯ブラシ、小型家電を回収する拠点回収という方法もあります。

年間24回実施の公園等で行っているイベント回収では、金属製調理器具、ぬいぐるみ、靴、古着を回収している他、サイクルの日という12月を除いた31日のある月の31日に、自転車及び羽毛布団をすみだ清掃事務所(本署)に持ってきていただく資源物回収も実施しています。

墨田区では陶器や蛍光灯は燃やさないごみで出していただいておりますが、回収されたこれらのものは、実は民間の処理施設へと運び、リサイクルをしています。陶器については墨田区では、23区で初めて陶器から陶器に生まれ変わらせるという画期的なリサイクルを行っています。

資源物は区が委託した資源物回収業者が回収し、民間の再資源化処理施設へと運ばれ、最終的に別の品物に生まれ変わるという流れになっています。

特集ページの取材は令和4(2022)年10月に行いました。

墨田区はごみの分別はきちんとされていますか？

もともと墨田区に住んでいる方や高齢の方はとてもよく分別をされています。23区内にある各清掃工場が、抜き打ちで区の収集車を止めて、入っているごみを一つひとつ確認する場合があります。清掃工場に合った出され方がされているかを調べているのですが、墨田区は2番目に良いという評価を受けました。

「墨田区ごみ分別案内チャットボット」はどのようにすれば使えますか？

区のホームページの中の清掃事業のページで猫がピョンピョン跳ねていますが、それが質問できる小窓です。資源物とごみの分け方・出し方のパンフレットの裏表紙でもごみ分別AIサービスとして周知しています。外国の人の中には、分別がわからないからごみを出さない人や、地域の人とつながりのない人もいと助言を得たので、外国の人や新しく墨田区に越してきた方には是非チャットボットを役に立てて欲しいと思います。

最近、清掃事務所のホームページがとても見やすくなりましたね。

環境学習という取組みを区内の小学校4年生に実施していますが、そこではホームページの動画を利用しています。4年生は環境について最初に学ぶ学年のようですが、子どもたちの環境への意識はとても高く、学校で得たものを親に伝えることもあるようです。地域特性を生かした廃棄物処理についてや環境について、その学ぶお手伝いをさせて頂いているかと思います。例えば、パック牛乳のパック自体はリサイクル可能な資源物、ストローは家庭では燃やすごみでも学校は事業所なので燃やさないごみになるということも、この環境学習で伝えています。学習を終えた後に学校から子ども感想文を送っていただく機会がありますが、「家に帰って親に伝えました」とか、「分別の仕方が学べてよかったです」とか、さらには、動画に映っていた「すみにゃーる」の絵を感想文に書いてくれるなど、とても嬉しいことがあります。また、ホームページには、出されたごみの量や資源物の回収量を実績値として公表し、見える化もしています。



ごみ減量・3R推進
キャラクター
「すみにゃーる」

「墨田区の資源物とごみの分け方・出し方」のパンフレットが新しくなったようですが。

今年の4月から粗大ごみのリユースを民間のインターネットによるリユースショップを営んでいる会社と区が事業連携し、不用品の買取り回収を行う新しい感覚のリユースを始めたので、その案内を粗大ごみのページに掲載しました。また食品ロスについて、どうやって減らしていこうかというヒントを掲載して区民の皆さんに実践していただけるように周知しています。

最近3Rという言葉を目にしますが、区民の皆さんのごみに対する意識は変わってきましたか？

3Rのなかで、リサイクルは様々なところでエネルギーがかかってしまうため、実は優先順位が低いです。一番大切なのは手元からごみを減らすリデュースだと訴えています。リデュースやリユースの2Rはまだ生活に溶け込んでいないと思われるため、民間の会社や我々消費者が本当に意識しないとごみは減っていかないと思います。

見学レポート

墨田清掃工場 (東墨田1-10-23)

墨田清掃工場は東武亀戸線小村井駅より徒歩15分。旧中川のほど近くにあります。高さ150mの煙突は遠くからもよく見えますが、近づくと建物全体の端正な佇まいにびっくりです。それもそのはず、1998年に竣工し、その年に建築デザインでグッドデザイン賞を受賞しています。工場内は自由に見学でき(午前9時～午後3時半/日曜を除く)ガラス越しにごみを受け入れる様子などを見ることができます。

ごみ収集車から直接ごみバンカにあげられたごみは、巨大なクレーンでつかまれ、焼却炉に投入されていきます。高温で燃やし、臭いを分解、ごみを衛生的に処理して体積を20分の1に減らします。また、焼却で出た熱を利用して発電を行い工場で使う他、余った電力を電力会社に売却しています。隣接する「すみだスポーツ健康センター」の温水プールなどにも熱を供給しています。

コンピュータ制御により整然と処理されていく様子に、清掃工場のイメージが変わるとともに、限りある最終処分場を少しでも長く使うためにごみを減らす必要を強く感じました。



すみだ清掃事務所業平待機所 (東駒形4-15-15)

ここでは回収された粗大ごみを磨いたり、削ったり、塗装したりして新品同様によみがえらせています。できあがった家具等は、とても捨てられたものとは思えません。働く3人の方は、シルバー人材センターの元家具職人さんだそうで、なるほどと納得です。



すみだリサイクルセンター (横川5-10-1-111)

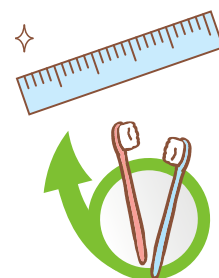
粗大ごみとして出された品物の一部は、すみだ清掃事務所業平待機所できれいに手入れされ、リサイクル品として展示し、希望者に抽選により無料で譲渡しています。毎月50点ずつ展示され、インターネットで見られることもできます。希望の品を2点まで申し込み、人気の品物は30人を超える希望者が集まるそうです。展示品は毎月ほとんどが引き取られていく人気とのこと。今後、毎月見に来たいと思うラインナップでした。



増えた回収方法

- 歯ブラシ(拠点回収) → リサイクルされ定規になって小学校に配られています。
- ペットボトルキャップ(拠点回収) → リサイクル素材に変えます。回収量に応じて公益法人に寄付したお金は、子どもたちのワクチン接種代になっています。
- 家庭で不要になった自転車(イベント回収) → アジア・アフリカなどの海外でリユースされます。
- 家庭で不要になった羽毛布団(イベント回収) → 天然資源を再利用します。

自転車の回収に取り組んだのは、23区では墨田区が最初です。



食品ロスについて

- フードドライブの実施(イベント回収) → 家庭で余っている長期保存可能な食品を回収し、福祉施設・団体や必要としている人に届けられます。
- 「食べきり推奨店制度」 → ご飯や料理の量の調整、ばら売りや量り売り、賞味期限間近の割引販売など、食品ロス削減に取り組む店舗が認定、登録されます。

粗大ごみ削減のためのリユース事業

- 民間のネットリユースサービス「おいくら?」を運営する株式会社マーケットエンタープライズと連携して、家具などの中古品買い取りサービスがスタートしました。パソコンやスマートフォンなどで一括査定ができ、希望に合ったショップを選ぶことができます。

リデュース、アップサイクル※注に取り組む企業

※注 アップサイクル：本来は捨てられるはずの製品に新たな価値を与えて再生すること。

- 株式会社すみだ珈琲
コーヒー抽出後の「使用済みコーヒー」を鶏糞と併せて、有機肥料にアップサイクルしました。お店のプランターや区内の福祉施設の花壇などで使用され、すみだ珈琲の店頭でも販売されています。
- アサヒコウアス株式会社
 - ・ エコカップ『森のタンブラー』の商品化。素材として焙煎麦芽粉末やコーヒーかす、間伐材などを配合しています。
 - ・ 『蔵前ホホワイト』 サンドイッチ製造で廃棄されるパンの耳をアップサイクルしたクラフトビールを商品化。先に、使用されなかったコーヒー豆から『蔵前ブラック』も作られています。
- 芝崎合金鋳造所
使われなくなった学校の蛇口などを溶かして、砂の型に流し込み、動物の形をしたペーパーウエイトや箸置きなどの真鍮製品しんちゅうにしています。

『森のタンブラー』や真鍮製品しんちゅうは、スカイツリー近くの商業施設内「すみずみ」で展示販売されています。

今、古着は…

最近、古着の需要が大きく伸び、特に若い人たちに人気で販売店が増えているようです。流行よりも個性的で自分らしさを追い求める世代に、古着は唯一無二のスタイルを与えてくれます。現在は、SNSや通販などでも容易に購入することができ、若い人たちが生み出すスタイルは、古着のリユースに貢献しているといえます。



ショコラティエ川路
シェフ兼代表取締役
お菓子マニアのチョコレート
アカデミー協会代表

かわじ
川路 さとみさん
Satomi Kawaji

Profile

専門学校洋菓子科卒業。ホテルでパティシエとして勤務後、パリでショコラティエとして修業。平成26(2014)年に独立しチョコレート教室を主宰。平成29(2017)年「ショコラティエ川路」をオープン。

みんなの希望になるような働き方を

Q. ショコラティエ・パティシエを目指した経緯を教えてください。

12才の頃、にんじんケーキを弟に作ってあげたら喜んでもらったことが嬉しくてケーキ職人を目指すようになりました。製菓専門学校卒業後、ホテルのパティシエとして仕事をこなすなか、一緒に働いていた先輩に「お前はガサツだから、チョコレート作りに向いていない」と言われ、逆にチョコレートへの興味とやる気が出たんです。当時はショコラティエとしてフランスで学ぶ人はいなかったの、私が第一人者になろうと思い、すぐにフランスへ飛びました。当初は多くの技術のなかの一つとしてチョコレートを学ぼうと渡仏しましたが、修業していくうちに、これは私の生涯の仕事だと思えるようになりました。

Q. 独立・起業した経緯を教えてください。

パティシエは、実は体力仕事。朝も早く、クリスマスなどの時期は徹夜が続くハードな毎日です。



「ショコラティエ川路」で出すチョコレートは「和風」がテーマ。フランスでの修業の際、世界から見た日本の評価を実感。チョコレート教室の生徒さんは様々な方面で活躍中です。

そのなかで「女性としてこの業界で生涯働くためにはどうしたらよいか」が、自分のテーマでした。体も心も健康的に、無理なく好きなことをしていこうと考え、30歳で独立しチョコレート教室を開業。そして、墨田区に「ショコラティエ川路」をオープンしました。

行動力とガッツが強みの私の性格は、ショコラティエよりも起業に向いているのかもしれませんが。フランスに行くときに母が、「盗まれないものを身につけて太ってきてください」と言ってくれていました。そんなふうに自分だけの強みを身につけ、伸ばすことで自分の道を切り拓けたのかなと思います。

Q. やりがいや今後の目標を教えてください。

結婚して、子どもが欲しいと思っています。働きながらも、こんな生き方や選択肢があるんだと思ってもらえるよう、生徒さんや後輩、働く女性に背中を見せていきたいです。

お仕事コンシェルジュ

必須の資格はありませんが、調理師専門学校や製菓専門学校を卒業し、実際にお店で働きながら経験を積んでいくことが一般的。お菓子が好き、作るのが好き、喜んでもらうことが好きな方は、パティシエや、ショコラティエが向いているそうです。

あなたの一文字 今日の一字

老若男女、誰もが自分らしく、ハッピーでありたいですね。
男女共同参画社会を目指し、みんながハッピーであるために、
あなたが日々の暮らしの中で感じた思いを「今日の一字」に例えて教えてください。



きさこさん

心を痛めることが多い今、人と人との和が、一番大切な心の一字です。



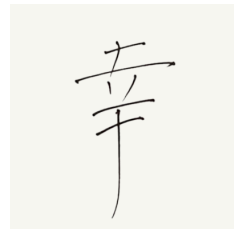
キンムギさん

コロナが落ち着いて家族やみんなが集まって、お酒を飲みながら楽しいときを過ごせたらいいなと思っています。



アーヤさん

コロナ禍、物価高騰等で不安定な世の中だからこそ、毎日が彩のある生活を送りたいと願っています。



たかこさん

いつも幸せを感じる心でありたい。

株式会社アストロスケールに行ってきました!

持続可能な宇宙環境のため宇宙事業を展開されている「(株)アストロスケール」。
墨田区のオフィスで働くマーケティング部の皆さんに今日の一字を伺いました。



ほぼ毎朝サーフィンをしてから出社しています。サーフィンはどんな波にも対応できるよう準備が必要なんです。普段から来たるべき良い波に乗れるよう、準備を意識しています。



Akkyさん

星、月、電灯の光、希望の光などの概念的な光…世の中にはたくさんの光がありますよね。星が光り輝く宇宙を舞台に活躍する、サステナブルな私たちの事業は、未来に向けて、みんなの光になるのではと考えています。



Daichiさん

プライベートも仕事でも、常に能動的に動くことを意識しています。流動的に、常に変化する物事についていけるように、待つだけではなく、自分から動いて、乗り遅れないようにしたいですね。



Satoshiさん

「今日の一字」を募集しています

【応募写真のテーマ】

手書きで紙に書いた、「今日の一字」の写真
(1年以内に撮影したもの)
※墨田区在住、在勤、在学の方。
※野線の無い、無地の紙にお書きください。
※スマホ等で撮影した写真も可。

【応募方法】

作品の応募は電子投稿(Eメール)のみとします。以下の内容を記載し、Eメールで応募してください。

- 1) 応募者(撮影者)の名前(フルネーム、本名)
- 2) ペンネーム(掲載する際に使用)
※記載の無い場合は本名を掲載します。
- 3) 一字字にのせた思いやエピソード、コメント等(50文字以内)
- 4) 連絡先(住所、電話番号)

【応募について】

- メールの件名を、必ず「すずかけ漢字投稿」としてください。
- 写真データは2メガバイト以内のJPEG形式をお願いいたします。
- お一人様何枚でも応募可能です。
- 応募1回につき添付する画像は1枚とします。
- 郵送による投稿の受付は行っていません。
- 随時募集しています!

【応募先メールアドレス】

suzukake@city.sumida.lg.jp

【注意事項】

個人情報の取り扱いなど、詳細は右記QRコードより
区ホームページ「今日の一字」募集ページをご覧ください。

その他詳細は
以下のページを
ご覧ください



すみだ女性センター 運営委員・協力委員を募集します

すみだ女性センターでは、各委員の任期満了に伴い、新しい委員を募集します。
すみだ女性センターや男女共同参画について関心をお持ちの方、ぜひご応募ください。

対象 墨田区在住、在勤、在学の方
(性別・年齢は問いません)

任期 令和5(2023)年4月1日から2年間です。
委員会はいずれも平日の昼間の時間帯に開催されます。

運営委員会

すみだ女性センターの事業と運営に区民の考えが反映されるよう意見を出し、すみだ女性センターのあり方を考える、運営全般に関わる委員会です。

募集人数

4名

回数等

年3回程度
(平日午前または午後の予定)

協力委員会

すみだ女性センターにおける男女共同参画を推進するための事業実施に当たり、区民の要望を直接的に反映させるとともに、各々の事業を積極的に支援する委員会です。

募集人数

30名程度

すずかけひろば委員会

男女共同参画推進のため、実行委員会形式で年1回実施する「すずかけひろば(講演、登録団体の発表など)」、周年行事等の企画、実施を担当します。

回数等

事業実施時期を中心に

年7~8回程度

(会議は平日の午前、行事は9月の土曜日の予定)

すずかけ講座委員会

男女共同参画推進のための講座、講習会の企画、実施を担当します(年間1講座程度の企画・実施です。)

回数等

事業実施時期を中心に

年7~8回程度

すずかけ編集委員会

男女共同参画情報誌「すずかけ(本誌)」を1年に2回作成、発行します。

回数等

年間25回程度
(火曜日午前の予定)

情報資料委員会

男女共同参画推進に関する情報の収集、図書を選定などを行います。

回数等

年間6回程度

応募方法等はすみだ女性センターへ ☎ [03-5608-1771](tel:03-5608-1771) お問い合わせください。

募集期間：令和4(2022)年12月1日～令和5(2023)年1月31日(必着)

すずかけひろばを3年ぶりに開催しました!!

すみだ女性センター登録団体と協力委員による実行委員会が企画・運営し開催する「令和4年度すずかけひろば」を令和4(2022)年9月24日(土)に開催しました。

▶すずかけひろば講演会



「今こそ生きるために!本当に大切なこと」
講師：立教大学名誉教授 渡辺 憲司 氏

墨田区にゆかりのある人物として、勝海舟(幕末の幕臣であり明治時代の政治家)と荻野吟子(近代日本における最初の女性医師)を中心に、興味深い講話をいただきました。

▶舞台発表



朗読サークルQ(朗読)



琴望会(大正琴演奏)

舞台発表は朗読サークルQと琴望会の2団体が参加しました。朗読、大正琴演奏と、皆さん素晴らしい発表でした。

▶展示発表

- あしたの会(活動報告)
- 家庭倫理の会墨田区(活動報告・折り紙)
- コスモスクッキングサロン(活動報告)
- 新日本婦人の会墨田支部(絵手紙)
- 墨田区更生保護女性会(活動報告)
- すみだ女性センターさぼーたーず(意識調査)
- すみだにほんごボランティア21(活動報告)

3年ぶりのコロナ対策のうえでの開催でしたが、活気ある展示発表ができました。

墨田区男女共同参画推進拠点施設

すみだ女性センター～すずかけ～

◆開館時間◆

[月曜日～土曜日]
午前9時～午後9時
[日曜日・祝日]
午前9時～午後5時

◆アクセス◆

〒131-0045
東京都墨田区押上二丁目12番7-111号
TEL:03-5608-1771
FAX:03-5608-1770

電車の場合



京成押上線・都営浅草線・
東京メトロ半蔵門線
「押上駅」下車A3出口徒歩5分
東武スカイツリーライン
「とうきょうスカイツリー駅」下車
徒歩7分

バスの場合



都バス(錦40)
南千住東口駅～錦糸町駅
「向島三丁目」バス停前徒歩1分
墨田区内循環バス(北西部ルート)
「女性センター」バス停下車
徒歩1分



編集委員からひとこと

今回の取材を通じて、普段私たちが何気なくしていた片づけやごみ捨てに改めて向き合うことができました。身近にある問題だからこそ知っているつもりでしたが、すみだ清掃事務所でお話を伺い、私が生まれるずっと前から墨田区の暮らしを考え取り組まれてきたのだと知り、とてもありがたく感謝し

きれません。他にも墨田区のごみ問題に関わっている方々の働きを知り、新たな一面が垣間見えました。分別や資源回収の行く末を見ていく中で、新しく生まれ変わった家具に出会い、心が躍りました。私たちが取材を通じて知ることができたごみ問題の取組みが、今号を通じて伝われば幸いです。

(三岳)

すずかけ編集委員会「特集」P4～P7、「こんにちは すみださん」P12担当
川嶋、木ノ内、高林、三岳、横山(五十音順)

株式会社アストロスケール
代表取締役

伊藤 美樹さん

すみだから

宇宙へ！



現在宇宙空間には、宇宙ごみ(スペースデブリ)【※注】が数多く漂っており問題と なっています。今回はこうし た宇宙のごみ問題解決に奮 闘する企業、株式会社アスト ロスケールの伊藤美樹さん にお話しをうかがいました。

アストロスケールについて

「当社は、宇宙の持続可能 性に取り組む企業です。

今日、気象・位置情報な ど衛星からのデータが私た ちの生活を支える、いわばイ ンフラのようになっています。宇宙のごみが使用中の衛 星にぶつかり破損すると、地 上の生活が即成り立たなく なってしまうのです。こうし た事態を防ぐため、宇宙ごみ の除去を含めた軌道上サー ビスの技術開発を行っていま す。軌道上サービスとは、自 動車や飛行機など地上では

当たり前にあるアフターサー ビス(点検保守・修理・移動・ 廃棄など)の宇宙版です。」

代表取締役就任について

「大学では航空宇宙工学を 専攻し、そこで初めて人工衛 星に出会いました。衛星は一 見ただの箱に見えますが、 中身によってできることが 全く変わってきます。その可 能性の大きさに魅かれまし た。大学院卒業後に参加し た衛星『ほどよし』のプロ ジェクト終了間際、教授から 弊社のCEOを紹介してい ただきました。当初、エンジ ニアとして入社する予定で したが『社長をやってみない か』と依頼され就任するこ とに。不安はありましたが、 違う立場を経験すれば視野 が広がり、自分の専門にも 活かせると考え引き受けま した。」

本社がある墨田区について

「新しいものと古いものが 混在した、面白い街ですね。 区内にあるビル内で衛星を 組み立てていますが、交通 の便がいいので、都心に出 たり、海外の訪問客をお招 きしたり、急ぎよ秋葉原で 部品の購入が必要になった ときも便利です。」

ワークライフバランスや 性別役割分業、 女性のキャリアについて

「仕事も家庭も趣味も生活 の一部であり、すべてつな がったひとつのものと思え、 切り分けて考えないように しています。家事については 分担を決めず、夫と話し合い ながら都度均等になるよう 心掛けています。

仕事面では、意思決定をで きるポジションにもっと女性

をおくことが重要と考えて おり、社内もそのようにして いきたいです。女性の数だけ 増えても支援業務ばかりで、 様々な場面で意思決定して 進めていける環境でなければ 本当の男女平等とはいえ ないと思います。

女性のキャリアについて は、もし機会があったとし ても『自分にはできない』と 構えてしまい、最初の一步 を踏み出すのを躊躇してしま いう傾向があるように感じ ます。もっと『何とかなるで しょ』と楽観的なところが あってもいいのではないで しょうか。」

伊藤さんの宇宙に関する 新しい技術やその大きな可 能性について熱心に語る姿に 「好きを仕事にする」を実現 した人の輝きを感じました。

(横山)

※注 使い終わった衛星やロケット、それらが爆発、衝突したりしてうまれた破片など

